

Press Release

平成30年春の外国人叙勲

ウィリアム・フリン・マーティン元米エネルギー省副長官の旭日重光章受章

2018年4月29日
在米国日本大使館

2018年4月29日(日本時間)、日本政府は、平成30年春の外国人叙勲受章者を発表し、この中でウィリアム・フリン・マーティン元米エネルギー省副長官が叙勲されることが公表されました。同氏は、日米間の原子力分野における関係強化に寄与した功績が認められ、本年、旭日重光章を受章することとなりました。

- ・賞賜: 旭日重光章
- ・功績概要: 日米間の原子力分野における関係強化に寄与
- ・氏名: ウィリアム・フリン・マーティン(William Flynn Martin)
- ・主要経歴: 元 米エネルギー省副長官
元 米エネルギー省原子力エネルギー諮問委員会委員長
元 米国家安全保障会議事務局長
現 ワシントン・ポリシー&アナリシス会長
- ・住所(国籍): メリーランド州ハバディグレイス(アメリカ合衆国)

マーティン氏は、レーガン政権下で米大統領特別補佐官、米国家安全保障会議(NSC)事務局長、米エネルギー省(DOE)副長官を務め、その後も長年、米国政府内の重要なポストを歴任してきた方です。同氏は、DOE副長官時に日米原子力協定の交渉に携わり、米議会の公聴会で日米協力を推進する立場から証言を行うなど、今日の日米間の原子力協力の基盤を築きました。その後も継続して日米間の原子力協力の促進やエネルギー安全保障の強化に取り組み、日米の原子力関係者や有識者間の相互理解を目的とするサンタフェ・セミナーを定期的に主催するなど、人的交流を通じた両国間の関係強化に多大なる貢献をされました。

(了)